

や **な** い 議会だより

9月定例会

Yanai City Council Information

2024.10.24 No.79

【主な内容】

- ・ 定例会の概要 2頁
- ・ 一般質問の要旨 4頁
- ・ 委員会での審査 8頁



やまぐちフラワーランド

9月定例会

会期

9月4日～9月25日

今定例会では、初日に議案15件、認定2件、諮問1件、報告3件、陳情3件が上程されました。また、本会議最終日に、認定5件、報告7件が上程されました。主な議案について紹介いたします。

Pick Up

01 議案第53号、54号、55号 工事請負変更契約の締結について

これらの議案は、柳井市体育館改修工事に伴う工事請負変更契約の締結に関するものです。建築主体工事では、アスベストの撤去や外壁のクラック補修範囲の追加工事、サッシやカーテンウォールの更新工事などを、電気設備工事では、全館LED化や消火ポンプ用自家発電設備の更新工事などを、機械設備工事では、2階西側へのトイレ新設や消防設備の追加工事などを、それぞれ行うものです。工期については、3件の工事とも原契約を変更せず、令和6年12月20日が完成予定です。



Pick Up

02 議案第57号 令和6年度柳井市一般会計補正予算（第2号）

商工費の観光費では、JR大畠駅前への公衆トイレ設置に要する経費等が計上されています。JRの計画では、跨線橋だけを残して駅舎も含めて全て撤去し、よりコンパクトな駅舎を建設する設計となっています。新たに建設される駅舎にはトイレの設備がないことから、大畠駅に隣接する市有地に公衆トイレを設置するものです。

市政などについての意見や要望があるときは、誰でも請願書や陳情書を市議会に提出することができます。

●必要記載事項

- ・ 請願（陳情）の要旨・理由
- ・ 提出年月日
- ・ 請願者（陳情者）の住所・氏名（団体の場合は、団体名称と代表者名）の署名または記名押印
- ・ 請願の場合は、紹介議員の署名または記名押印

●提出時の注意点

- ・ 請願の場合は、紹介議員が1名以上必要です。
- ・ 陳情の場合、紹介議員は不要です。
- ・ 住所・氏名のない請願（陳情）は受付できません。



令和6年9月定例会議案等の審議結果

【全会一致で議決した議案等】

【議案】

- ・柳井市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正について
- ・柳井市税条例の一部改正について
- ・柳井市国民健康保険条例の一部改正について
- ・柳井市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正について
- ・柳井市地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- ・柳井地域広域水道企業団の共同処理する事務の変更及び規約の変更について
- ・令和5年度柳井市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
- ・令和6年度柳井市一般会計補正予算（第2号）
- ・令和6年度柳井市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
- ・令和6年度柳井市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
- ・令和6年度柳井市水道事業会計補正予算（第1号）
- ・令和6年度柳井市下水道事業会計補正予算（第1号）

【認定】

- ・令和5年度柳井市水道事業会計決算認定について
- ・令和5年度柳井市下水道事業会計決算認定について

【諮問】

- ・人権擁護委員候補者の推薦について（森藤 幸枝 氏）

【報告】

- ・専決処分の報告について
- ・平郡航路有限会社の経営状況について
- ・一般財団法人やない花のまちづくり振興財団の経営状況について

【陳情】

- ・ガザ地区の即時停戦のための積極的外交を政府に要求する意見書の提出を求める陳情書
- ・母（王乖彦）が中国で不法に逮捕されている件に関する陳情
- ・地域社会に貢献するシルバー人材センターの決意と支援の要望

【認定（最終日）】

- ・令和5年度柳井市一般会計歳入歳出決算認定について
- ・令和5年度柳井市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
- ・令和5年度柳井市市有林野区事業特別会計歳入歳出決算認定について
- ・令和5年度柳井市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について
- ・令和5年度柳井市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定について

【報告（最終日）】

- ・令和5年度柳井市用品調達基金運用状況の報告について
- ・令和5年度柳井市県収入証紙購入基金運用状況の報告について
- ・令和5年度柳井市奨学金貸付基金運用状況の報告について
- ・令和5年度の決算に基づく健全化判断比率及び資金不足比率の報告について
- ・専決処分の報告について（3件）

9月定例会で賛否が分かれた議案等 ○：賛成 ●：反対 欠：欠席 ※議長は表決に加わりません。	審議結果	各会派議員の賛否										賛否数								
		政友 クラブ	やない 経政会	1人会派								○	●							
		藤沢 宏司	平井 保彦	君山 本達也	田中 晴美	岩田 優美	岡村 茂樹	篠脇 文毅	坂ノ 井徳	中川 隆志	平岡 幸男	岡本 泰行	川崎 孝昭	三島 好雄	長友 光子	下村 太郎	賛成	反対		
【議案第53号】 工事請負変更契約の締結について	可決	○	○	欠	※	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	●	○	11	3
【議案第54号】 工事請負変更契約の締結について	可決	○	○	欠	※	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	●	○	11	3
【議案第55号】 工事請負変更契約の締結について	可決	○	○	欠	※	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	●	○	11	3

南海トラフ地震における本市の今後の対策について

やない美ゅーロードの安全対策について 平郡西集会所の運用について



平岡 実千男 議員

問 本年、8月8日16時43分頃に日向灘を震源とする地震が発生し、8月8日19時15分に南海トラフ地震臨時情報が気象庁より発表されました。その後、8月15日17時をもって政府からの特別な注意の呼びかけは終了しましたが、「日頃からの地震への備え」は引き続き実施をお願いしています。

南海トラフ地震についてどう対策をしていくのかお伺いします。

答 国においても、行政を主とした取組だけでなく、自助、共助を主体とした防災政策への大転換が必要であるとしている。公助の取組を今後も続けていくが、住民主体の防災対策への転換に向け、今後も防災出前講座や防災研修会等において、自助、共助の必要性を訴えていく。

問 2017年3月26日の全線開通以来、やない美ゅーロードは、多くの市内の方や市外から訪れる人に利用されてきました。周辺農村部から市街地へのアクセスを改善するためには作られた農道ですが、多様化が進

んだことで今後は、安全面に対して対策が必要だと考えます。

安全対策についてどうしていくのかお伺いします。

答 やない美ゅーロードなど幹線広域農道のさらなる交通安全対策の必要性は認識している。路面への着色表示や、側溝蓋、ガードレール、カーブミラー、区画線の設置などの安全対策事業を次期実施計画に盛り込み、計画的に取り組んでいきたい。

問 平郡西集会所は、昭和34年3月完成以降65年6か月が経過しており、これまで公民館活動をはじめ地区の文化活動やコミュニティ活動の拠点として利用されてきました。今後は老朽化対策や設備の更新をしていく必要があると考えます。

平郡西集会所の運用についてどうしていくのかお伺いします。

答 地区において複数の機能を有する唯一の施設であり、現在の活動の場を維持するため、設備の損傷等に適時対応し、これまで同様の利用が行えるよう運営していきたい。

国際交流について

阿月漁港松浦地区の鰯加工場について

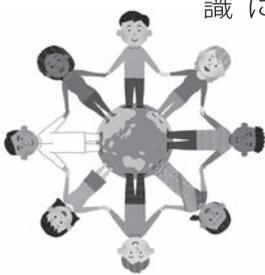


三島 好雄 議員

問 ともに隣国への海の玄関を有するという共通点から、山口県は、中国の山東省と1982年8月に友好協定を結び、韓国の慶尚南道とは1987年6月に姉妹・友好都市の締結を行った。これから三自治体のトライアングル交流が始まり、文化・青少年・福祉分野など多方面の交流を続けて大きなうねりを見せている。

柳井市の場合、中国の章丘市と2004年5月に友好都市提携の調印を行っている。この際、韓国の慶尚南道のどこかの都市と友好都市提携を行い、交流を深めてはどうか。

答 友好都市提携は、民間同士の人的ネットワークや企業進出など地道な交流によって、関係性が深まることとの延長線上にあるものと認識している。



問 阿月漁港松浦地区の鰯加工場について、地元住民から地方自治法が遵守されていないのではないかという指摘があった。加工場からの騒音・臭気が漁港周辺の住環境に影響があるなどの問題は、地方自治法第1条の2、地方公共団体は住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うものとする、とあるがどうか。

答 ここでいう「住民の福祉の増進を図る」とは、「全ての市民が幸せに暮らす」ということであると考える。すなわち、「全ての市民」とは漁業者と近隣住民の両者であるとともに、「幸せに暮らす」となれば、幸せの感じ方は人それぞれであり、一方が幸せと感ずることがあれば、一方では、幸せを感じないということが生じ得る。そうした局面において、両者の理解を得ながら、適切な調整をしていくことが本市の役割であり、この条文に沿うことでもであると考えている。

使用済み核燃料の中間貯蔵施設について 生理用品の学校トイレへの設置について



長友 光子 議員

問 周辺自治体では、建設反対の請願や陳情、署名が出されていますが、どう受け止めますか。市政の主人公の市民の意思を、どのようにして把握しますか。

答 周辺自治体においても、決して少なくない住民が不安や懸念を持っている。今後、電力事業者や国による説明の機会が確保されるよう市として周辺市町とともに強く求め、それを実現した上で、施設の安全性や核燃料サイクルにおける位置づけなどについて市民との議論が尽くされ、これを受けて安全性の限界などについて市として見極めていきたい。

問 南海トラフ地震の相対的確率が高まっており、ただでも甚大な被害が予想されている中、放射能は、身体を蝕み故郷を奪う異次元の被害をもたらします。原子力施設はあってはならないと思いますが、どう認識されていますか。

答 使用済み核燃料中間貯蔵施設については、国が定めた避難等が必要

となる原子力災害対策重点区域の設定を要しない施設に区分されているが、あらゆる被害を想定し、しかるべき安全対策がなされるべきであると認識している。これらの対応は、国のエネルギー政策に基づき計画される施設である以上、国及び電力事業者において責任ある姿勢と対応を強く求めるものである。

問 児童・生徒が生理用品の確保に不安を感じることなく、安心して学校生活を送るようになることが大切です。「子どもの貧困」対策や「ジェンダー平等」の立場から、生理用品をトイレレットペーパーと同じように、学校トイレに設置することが必要ではないでしょうか。

答 児童・生徒が安心して学校生活を送ることができる環境を整えるために、市教育委員会では、市内全ての学校にトイレ設置用の生理用品の配布を予定している。現在、先行して一部の学校で生理用品のトイレ設置の試行のお願いをしている。

今の柳井は幸福か不幸かについて 柳井金魚ちょうちん祭りについて みどりが丘図書館について



君国 泰照 議員

問 今の柳井市の現状は少子高齢化による人口減少で街は寂れております。そうした中で来年は市長選挙があり井原現市長の5選には賛否の声があるのは事実で市民は戸惑っております。現市長の実績による現体制を望むか新しい感覚の新体制を支持するか。

答 人口減少も経済も重要であります。市民が望むものは平和で生活が豊かで安心、安全に暮らすことが出来る「幸福なまち」を願っております。柳井市民が笑顔で一生を終えることが出来る幸福な柳井を築く覚悟は持ちかお尋ねいたします。

問 柳井金魚ちょうちん祭りは、今の柳井市、山口県の名物行事として定着いたしました。関係者の大変なご苦労があり感謝いたします。昨年度からの改善点と本年度の良かった点と反省点、今後の在り方についてお尋ねいたします。

答 屋台村の場所を変更したことで混雑は緩和されたが、場所が分かりにくいとの声をいただいた。来年度は対応していきたい。

問 図書館完成までは議会も市民の方々からも喧々諤々の議論がありました。図書館に対しても好評でありました。図書館に対しての要望、改善点があればお答え下さい。

答 中央カウンターにて電気スタンドの貸出しや静かに本を読みたい方を静寂読書室に案内する、学習室、閲覧席が不足する場合やお弁当を食べられるスペースとして空き室を開放するなど、臨機応変に対応している。引き続き、多くの方にご来館いただき、居心地の良い滞在型の図書館となるよう努めていく。

一般市民の方も乗車できるスクールバスの有効利用について 学校給食の食器等について



岡村 茂樹 議員

問 一般市民の方が混乗するコミュニティバスとしての活用は困難であるとのことでしたが、朝夕の登下校時間帯において一般市民の方が乗車できないか伺いたします。

答 スクールバスが稼働していない時間帯に一般市民の方が乗車を行う場合、①学校行事等で運行時間の変更をした際に、車両や運転手の確保が困難②走行距離の増加から、スクールバスのリース料の増額が見込まれる③比較的公共バス利用者が少ない時間帯において、燃料費や運転手の人件費をかけ、学校のカリキュラムに合わせて調整しながら運行することが、利便性の高い手段として、持続可能な形になり得るかなどといった課題がある。しかしながら、地方が抱える地域公共交通網の形成、移動困難者の移動手段の確保といった問題は、重要な行政課題の一つと認識しており、引き続き、その在り方について、大胆な取組も含めて研究していきたい。

問 給食を食べる際に使用する箸等を準備していただくことはできないか伺いたします。

答 給食センターは、平成13年に移転・新築しているが、そのタイムニングにおいても箸の提供をしておらず、箸用の保管庫や、箸を洗浄する設備を新たに設置するためのスペースがないのが現状である。箸用の保管庫等を設置する場所を確保するには、センターを増築する必要があり、現状の設備配置や職員の導線なども踏まえると、施設全体の見直しも必要になると考えられる。また、令和6年8月に洗浄機も更新したばかりである。こういった状況を踏まえると、現施設での箸の提供は困難であると考えている。



図書館における高齢者等への配慮 中間貯蔵施設について



中川 隆志 議員

問 みどりが丘図書館に体の不自由な人用の駐車場を増やすとともに高齢者用の駐車場も設置できないか。併せて館内に大型の案内板を設置できないか。

答 今後、図書館南側入り口付近に、身体障がい者等専用駐車場を2台分設置する計画であり、上の段の専用駐車場は計4台となり、下の段と合わせて計7台となる。高齢者専用の駐車場も、公園整備の中で設置を考えている。市としては、上の段の駐車場は、お身体の不自由な方や高齢の方、お子さま連れの方に優先利用していただきたいと考えている。一般利用者には、下の段の駐車場をご利用いただきたい旨の記事を本年6月13日号の広報やないに掲載し、協力をお願いしてきた。利用者相互が譲り合い、お互いが気持ちよく利用していただけるよう、引き続き、啓発していきたい。案内表示については、可能な箇所について表示拡大するとともに、サインスタンドを使用し、分かりやすい表示に努

めていく。また、北側玄関の入り口付近にある中央カウンターには、スタッフを常時配置しており、お気軽にお尋ねいただけるような雰囲気づくりに努めていく。

問 来たる市長選挙にむけて市長は自民党県連の推薦を受けられたが岩国市長は仕事に支障が出るとして推薦を受けられなかった。自民党は原発推進である。市長も同じ考えか。

答 あくまでも柳井市民を代表する市長という役割が出発点であり、市民の方々から負託を受けて私はこの立場を担っている。このことから市民の立場で、物事を考えていくべきであると自覚している。よって、原子力発電所における安全性が国や事業者において、とりわけ、国の責任においてしっかりと確保されるべきということとは、従来から一貫して申し上げており、今も変わらぬ考えである。その都度国に対しても申し上げるべき点については申し上げていきたい。

不登校児童・生徒のケア 産業団地の整備について



下村 太郎 議員

問 困っている児童・生徒や保護者が相談しやすい体制の整備、適応指導教室等と各学校との連携強化と予算状況についてお伺いします。

答 最も身近な存在である学校に、まずは相談していただき、その相談をきっかけに、児童・生徒の状態に最も適切な対応方法を保護者と一緒を考えていく。本市では不登校児童・生徒の安心できる居場所として、柳井市適応指導教室通称「しなやかスクール」を開設している。昨年度から、しなやかスクール指導員と学校関係者及び市教育委員会の担当者、月1回情報交換会を開催し、現状と今後について協議を行い、より良い支援について共通理解を図っている。さらに今年度は、迎えに来られた保護者に声をかけ、子育て上の日頃の悩みやストレスを受け止める機会として、「お迎え・おしゃべりタイム」を新たに設けた。今後もしなやかスクールと各学校や保護者との更なる連携強化を進め、不登校児童・生徒のより良い自立の

支援に取り組んでいきたい。また、予算については指導員から要望を受け、今年度、教材費を増額している。

問 南浜の事業用地2haの活用見通しと今後の企業誘致、産業団地整備の可能性についてお伺いします。

答 昨年の夏以降、複数の企業が関心を示されているが、地盤の状況を懸念される企業もあるため、市が地盤調査を行い、12月に提出される予定の調査結果を関係する企業に提供する予定である。企業誘致は、山口県の支援、協力もいただきながら、近年、一定の成果が出ているが、労働力の確保と新たな事業用地の確保という2つの課題に現在直面している。こうした情勢も踏まえ、本市の実情に応じた企業誘致を地道に進めていきたい。産業団地については、第2期産業団地整備事業を見据え、山口県に対し、引き続き予算措置を強く要望していくとともに、本市の実情に合った用地選定要件への見直しについても要望していく。

レプリコンワクチンについて マイナンバー保険証について



岡本 泰行 議員

問 世界で認可されているのは、日本だけです。治験はどの様に行われ結果を公表されているのか。危険性について指摘している論文も多数あります。何万人規模の反対表明するデモもありましたが、大手メディアが取り上げないので、大多数の市民は知りません。図書館にも関連する書物がありません。購入出来ないか、お尋ねします。

答 レプリコンワクチンは、コストがイベ筋注用という名称で販売されている。コストイベ筋注用は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構の審査報告書において、国内外の臨床試験の成績を評価した結果、その有効性が評価され、また、安全性についても有害事象の報告も勘案した上で評価されている。その上で、令和5年11月27日に薬事・食品衛生審議会医薬品第二部会において審議が行われ、コストイベ筋注用を承認しても差し支えないとされたことを受け、翌28日に厚生労働大臣が承認している。また、図書館の選書については、

司書が中心となり客観的かつ公平な立場で、各分野にわたってバランスを考慮しながら行っている。

問 マイナンバー保険証の12月からの取扱いについて不安に思われている方がいます。紙の保険証はどの様になるのかお聞かせ下さい。

答 本市において発行している保険証は、有効期限が令和7年7月31日までと記載しているもので、それまでは現行の保険証が使用できる。紙の保険証の廃止日である令和6年12月2日以降の保険資格取得時や更新時などには、マイナ保険証を保有していない人には資格確認書が、マイナ保険証を保有している人には保有者であることを通知する資格情報のお知らせの文書が交付される。資格確認書は、現行の保険証の廃止後、マイナンバーカードによりオンライン資格確認を受けることができず、交付されるものであり、医療機関等の窓口で提示することで、引き続き現在の紙の保険証と同様に医療機関・薬局を受診することができる。

総務文教厚生 常任委員会

委員長 岩田優美

本委員会は、会期中の9月10日、閉会中の7月1日、7月3日及び8月5日に開催し、議案11件、付託調査事項等について審査を行いました。

議案第53号から議案第55号までの工事請負変更契約の締結については、委員から市体育館は古い建物でありアスベストをはじめとした大規模な改修が必要なのは当初から想定できたのではないかと、今回の追加工事分に対して緊急防災・減災事業債はどうなるのかとの質疑に、今回の改修工事に際して実施設計業務を委託した

が、昭和51年に建設された建物であるため、実際に工事を進めないといけない部分が多かった。緊急防災・減災事業債は、追加工事に對しても適債性があれば対象となるとの答弁がありました。

分割付託となりました。議案第57号令和6年度柳井市一般会計補正予算（第2号）については、委員からこどもまんなか保育士独自加配事業補助金について、私立保育所において加配は何人ぐらいかとの質疑に、現在は0歳児のクラスが3人に1人、1・2歳児のクラスが6人に1人という基準がある。いずれかのクラスにおいてこの基準よりも手厚く保育士を配置する園に對しての補助金であるとの答弁がありました。

閉会中の付託調査事項の市民生活に関わる社会福祉については、郵便局等の公的地域基盤連携推進事業について報告があり、委員から郵便局の社員が携わることになる。個人情報観の観点からどのように取り扱うのかとの質疑に、基本的に情報端末の操作の補助をすることで個人情報を含むことではないが、そこを含めて平郡での実証事業で確認しながら進めるようになるとの答弁がありました。

最後に、柳井西中学校のタブレットを活用した授業、伊陸小学校と新庄小学校の算数補助教員による授業、ストーンマーケット翠が丘公園のマンホールトイレ・防災備蓄倉庫の管内視察を行いました。



災害時に設置するマンホールトイレ

建設経済水道 常任委員会

委員長 三島好雄

本委員会は、会期中の9月9日及び閉会中の7月29日に開催し、議案5件、認定2件及び付託調査事項等について審査を行いました。

認定第1号令和5年度柳井市水道事業会計決算認定について、委員外議員から時間外勤

務手当等を見ると人手不足のように感じるが、人員の配置はできないのかという質疑に、業務量に對し、適正な職員配置が望ましいと思われる。昨年からは広域化の協議等による業務量も増える中、十分な職員の配置が必要と考えている。広域化に際し、縮減に努めていきたいと考えているが、広域化してすぐは業務量が多くなることも考慮し調整していきたいという答弁がありました。

付託調査事項について、9月の委員会では、柳井地域広域水道企業団事業計画について報告がありました。委員から企業債残高は各市町のもの全て引き継ぐのかという質疑に、各セグメントで会計を分けるので、企業

債についても各セグメント内で償還することになるといふ答弁がありました。

閉会中の付託調査事項は、①中心市街地の活性化と企業誘致について②地域資源を生かした観光の振興について③上下水道事業について④農林水産業及び地域の活性化についての4点とすることに決定しました。

そのほか、執行部からの報告と説明の後、様々な質疑応答がありました。



建設経済水道常任委員会

人口問題 特別委員会

委員長 中川隆志

人口問題特別委員会は、7月5日、8月6日及び9月11日に開催し、付託調査事項について審査、協議を行いました。

7月5日の委員会で、この特別委員会の今後の進め方について協議し、①人口減少の諸問題について現状を把握すること②課題を整理するために各委員がレポートを提出すること③検討課題を決定し市民や関係団体の意見を聴くこと④委員会として提言をまとめること等を確認しました。

8月6日の委員会で、人口減少の実態及

び人口減少社会の問題点について総合政策部から説明を受けました。

9月11日の委員会で、人口減少に対する市の取組及び県の動向について総合政策部と健康福祉部から、また、人口減少が行政に及ぼす影響について総合政策部からそれぞれ説明を受けました。これらの説明を参考にしながら、9月末までに課題や問題点について各委員がレポートを提出することとなりました。



人口問題特別委員会

議会運営委員会

委員長 篠脇丈毅

議会運営委員会を8月9日、28日、9月11日及び25日に開催しましたので概要を報告いたします。

①9月定例会の会期日程及び議案の付託先等、議会運営に関する協議を行いました。

②タブレットの操作勉強会を、本会議初日及び最終日の午前9時30分から、常任委員会についても午前9時30分から行うとの確認をいたしました。

③議長から諮問のありました「常任委員会の在り方について」、8月9日に複数委員会所属制度を採用している事例について協議し

ました。9月11日の委員会では、県内や類似団体市議会における予算決算常任委員会の設置状況及び予算決算の審査状況や課題について情報を共有し協議しました。

④議会運営委員会の閉会中の付託調査事項は引き続き「議会の運営及び議会の会議規則、委員会に関する条例等並びに議長の諮問に関する事項について」と決定し、議長に取り計らいをお願いしました。



議会運営委員会

柳井地区広域市町議会議長会への田布施町議会の加入について

柳井市、周防大島町、上関町、平生町の1市3町で構成する、柳井地区広域市町議会議長会は、10月10日に臨時総会を開催し、令和7年4月1日から田布施町議会が加入することを決定しました。今後は、田布施町議会を加えた1市4町で議員研修会をはじめ、柳井広域が抱える様々な問題について連携を図り取り組んでいきます。



主な議会の動き

7月



- 1日・総務文教厚生常任委員会管内視察
- 3日・総務文教厚生常任委員会管内視察
- 4日・山口県東部高速交通体系整備促進協議会山口県及び山口県議会への要望
- 5日・大島小学校6年生議場見学
・人口問題特別委員会
- 8日・令和6年度岩国3期成同盟会合同総会
- 10日・第23回柳井地区広域市町議会議員研修会
- 11日・山口県東部高速交通体系整備促進協議会国土交通省中国地方整備局への要望
・議会だより編集委員会

8月



- 29日・建設経済水道常任委員会
- 30日・山口県東部高速交通体系整備促進協議会山口県選出選出国会議員及び関係省庁への要望
- 5日・総務文教厚生常任委員会管内視察
・総務文教厚生常任委員会
- 6日・人口問題特別委員会
- 9日・議会運営委員会
・第25回山口県市議会議員研修会
- 19日・第71回東部5市議長会
- 28日・議会運営委員会

9月



- 4日・本会議1日目
- 5日・本会議2日目
・全員協議会
- 6日・本会議3日目
- 9日・建設経済水道常任委員会
- 10日・総務文教厚生常任委員会
- 11日・人口問題特別委員会
・議会運営委員会
- 25日・議会運営委員会
・本会議最終日
・議会だより編集委員会



会議のお知らせ

閉会中の各委員会の日程は次のとおりです。

○建設経済水道

常任委員会

10月30日(水) 午前9時から

○総務文教厚生

常任委員会

11月5日(火) 午前9時から

11月6日(水) 午前9時から

【場所】

全員協議会室(市役所5階)

※傍聴することができます。

編集後記

そこはかとなく木犀の香りがただよいくる頃となりました。寒露の折から、くれぐれもお体にはご留意なさってください。

やない議会だより編集委員会

委員長	長友光子
副委員長	岡本泰行
委員	岡村茂樹
委員	平岡実千男